

「出題の意図」

選抜区分	平成 31 年度 （選抜区分：一般前期） 外国語学部 （科目名：英語）
出題の意図	<p>問題 1 問 2</p> <p>一般的な知識で補える内容であったはずであるが、That の指す内容を正しく解釈していた解答は相対的に少なかった。多くが直前の段落を日本語に翻訳していたが、数値の読み間違いが多く（「1200 万人」を「12 万人」「12 億人」「1 億 2 千万人」など）、once 等の副詞が何を修飾しているか等、文法的な解釈のミスも目立った。</p> <p>問題 2</p> <p>後半部分の内容を正しく理解し、前半部分の問題提起とその背景説明から簡潔にまとめられるかどうか、この問題の重要なポイントであった。解答の傾向をみると、後半部分の内容を正しく理解できていれば、前半部分から簡潔に、そして適切に要約できているものが多かった。一方で前半部分に重点をおいた要約をおこなっている解答も少なくない。中には冒頭の要約に字数をとられ本英文全体を要約できていない解答もあり、要約の正誤には差が出た。</p> <p>問題 5</p> <p>この問題の主眼は、英語を流暢に書く能力、合理的に説得力のある議論を伝える能力を評価することにあります。受験者の中には、肯定的に答える人もいれば、否定的に答える人もいました。論拠として多種多様な長所と短所が言及されていました。多くの受験者は、語彙が限られているためか、自分の言葉で表現すべきところを質問自体の中で使用されている語彙を単純に再利用していました。多くの受験者は、“If I were president, I wouldn’t”というように正しく仮定法を用いることができず、“If I am president, I don’t...”といった形で回答していました。</p>